

会派視察・研修報告書

会派名 新生自民

代表者名 林 美行

1 日 に ち	2024年 3月 12日（月）
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	東京都江東区 東京ビッグサイト 建築建材展 2024
3 参 加 者	林美行、葉狩拓也、獅子野真人
4 調査・研修の テーマ	多治見市美濃焼タイル振興協議会の出展状況について
5 主な内容	美濃焼タイルにおける各出展者のブース

6 所感、提言事項、課題等

【 林 美行 】

外装タイルに規制が入るなどで、危機感を持ち続けるタイル業界では、新しい市場を確立するための努力が加速している。そういう意欲を多くのブースで感じることができました。デザイナーや芸術家のアドバイスを生かしておしゃれで美しいイメージ、生活を自分の個性で、いわば衣料品を選ぶようにして、身近な空間をデザインできる、普通の市民が消費者となる可能性の追求など、これからの時代に合わせた対応が進み、新しい市場を確保できる取り組みが進んでいると感じました。

外装タイルや内装タイル、土木に使うタイルも、デザイン性の向上、質感等に消費者の共感が得られる取り組みが加速されていると感じました。大理石と見まがう商品、石と比べてそん色のない商品、明日への、多くの気力を感じることができる建材展でした。

特に、焼成せずに作り出せるタイルなどの新しい挑戦も素晴らしいことと強く感じました。温暖化を防ぐという時代の要請に対応できる取り組みに、これからの美濃の力を感じました。

これからは、より建築家、デザイナー、芸術家とコラボし、生活文化の充実の中に、新しい多くの市場が生まれることへの支援とともに、モザイクタイルミュージアムを活用した、そういう時代を築き上げる流れを一層支援し、若い人たちを中心とする新しい雇用が生まれるように議会としても大きく支援することが必要であることを強く感じました。

【 葉狩 拓也 】

市議会議員になり初めて「建築建材展 2024」を視察しました。以前から東京ビッグサイトで行われる建築建材展のお話は、業界関係者や同僚議員から聞いておりましたが、実際に来場してみて、出展企業の多さや会場の広さ、また日本中、更には世界中からお客様が来場されている様子は圧巻のスケールでした。

多治見市は日本一のタイル産地として知られ、地元のタイルメーカーが参加し、地域の伝統的な技術や素材を活かしたタイル製品が展示されました。会場でも世界から『MINO タイル』への関心の強さを感じ、地域のタイル産業へのリスペクト、地元のタイル業界の重要性を再確認しました。多治見市のタイル産業は地域経済や文化に深く根ざしています。地域のアイデンティティを象徴するデザインや素材の活用等、今後もタイル業界の発展を支援していきたいと思いました。

【 獅子野 真人 】

美濃焼タイルと名古屋芸術大学のコラボレーションによって出来上がったタイルアートは圧巻の一言でした。延べ7万人が訪れた本イベントにおいて、一番目を引くエリアであった為、「MINO」・美濃焼・タイルのアピールは十分だったのではないかと考えます。

これを契機に、多くの方に興味を持っていただき、美濃焼業界が盛り上げられれば嬉しいですし、議員の立場からも盛り上げることのできる方策をしっかりと考えていかなければいけないと実感しました。

7
写 真 等
※視察の場合は
必須、研修の場
合は任意



※視察先、研修先ごとに1枚作成すること。

※「6 所感、提言事項、課題等」は、参加者全員分を記載すること。